

## 令和6年度シンポジウム

# 一般廃棄物処理分野における資源循環・脱炭素化に係るシンポジウム

2024年12月23日  
廃棄物資源循環学会  
環境省

〔趣旨〕 令和5年6月に閣議決定された廃棄物処理施設整備計画では、気候変動への対応として「2050年カーボンニュートラルにむけた脱炭素化」の視点が盛り込まれ、「3R・適正処理の推進」については「循環型社会の実現に向けた資源循環の強化」の視点が追加され、「地域循環共生圏の構築に向けた取組」においては、脱炭素化や廃棄物処理施設の創出する価値の多面性の視点からの拡充がなされました。

また、令和6年8月には「第五次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定され、循環経済への移行による持続可能な地域と社会づくり、動静脈連携によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環、多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現、資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行などへの取組みが始まりました。

以上を踏まえ、令和6年度シンポジウムでは、第五次循環型社会形成推進基本計画の概要及び廃棄物処理施設整備計画における視点等の解説及び一般廃棄物処理分野における資源循環及び脱炭素化に向けた施策、研究について御報告いただいたうえで、第五次循環型社会形成推進基本計画の概要及び廃棄物処理施設整備計画を踏まえた一般廃棄物処理分野における資源循環と脱炭素方策について、多角的視点から討議を行うものとします。

〔主催〕 環境省、廃棄物資源循環学会

〔日時〕 2025年2月3日（月）13:30～17:00（会場受付は12:30より開始）

〔会場〕 航空会館（7階大ホール）（東京都港区新橋1-18-1）03-3501-1272

〔交通〕 地下鉄都営三田線内幸町駅A2出口より徒歩1分又はJR新橋駅より徒歩8分

〔定員〕 150名（会場）300名（オンライン）事前申込み制、自治体関係者を優先。ハイブリッド型式（WEB：ZOOMを使用）

〔参加費〕 無料

〔参加申込み〕 学会ホームページ（[https://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=34484](https://jsmcwm.or.jp/?page_id=34484)）からお申込みください

〔プログラム〕

- 13:30～13:35 開会の挨拶  
学会会長 高岡 昌輝（京都大学大学院工学研究科 教授）  
司会・進行 学会副会長 秩父 薫雅（株神鋼環境ソリューション）
- 13:35～13:55 第五次循環型社会形成推進基本計画について（20分）  
近藤 亮太  
（環境省環境再生・資源循環局 総務課循環型社会推進室 室長）
- 13:55～14:15 令和5年に策定した廃棄物処理施設整備計画等について（20分）  
松崎 裕司  
（環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長）
- 14:15～14:45 ごみ処理広域化・集約化に関する動向と最適化の事例研究（30分）  
平井 康宏（京都大学 環境安全保健機構 環境管理部門 教授）
- 14:45～15:15 資源循環・脱炭素化に向けた一般廃棄物処理システム指針の新たな役割（30分）  
大迫 政浩（国立研究開発法人国立環境研究所 フェロー）
- 15:15～15:45 資源回収における自治体連携と再生プラスチック国内循環に向けた先端システムの開発状況について（30分）  
今井 麻美（株式会社 富山環境整備イノベーション推進室 室長）
- 15:45～15:55 会場整備（10分）
- 15:55～16:55 パネルディスカッション：一般廃棄物処理分野における資源循環・脱炭素化に係る展望と課題（60分）  
コーディネーター 酒井 伸一（公益財団法人京都高度技術研究所 副所長）  
パネラー 【講演登壇者等を予定】
- 16:55～17:00 閉会の挨拶  
酒井 伸一（公益財団法人京都高度技術研究所 副所長）